

平成28年度 委託研究開発成果報告書

I. 基本情報

事業名： (日本語) 臨床研究等 ICT 基盤構築研究事業
(英語) ICT infrastructure establishment for clinical and medical research

研究開発課題名： (日本語) 医療等データの利活用技術に関する調査研究
(英語) Survey of utilization of clinical and medical databases for clinical research

研究開発担当者 (日本語) 日本電気株式会社 医療ソリューション事業部
所属 役職 氏名： シニアマネージャー 上條 憲一
(英語) Kenichi Kamijo, Senior Manager,
Medical Solutions Division, NEC Corporation.

実施期間： 平成28年10月01日 ～ 平成29年03月31日

分担研究 (日本語) 既存の医療等データの全体像の調査・分析
開発課題名： (英語) Investigation of utilization of clinical and medical data

研究開発分担者 (日本語) 日本電気株式会社 医療ソリューション事業部
所属 役職 氏名： シニアエキスパート 真野 誠
(英語) Makoto Mano, Senior Manager,
Medical Solutions Division, NEC Corporation.

研究開発分担者 (日本語) 日本電気株式会社 医療ソリューション事業部
所属 役職 氏名： 主任 吉岡 賢
(英語) Masaru Yoshioka, Assistant Manager,
Medical Solutions Division, NEC Corporation.

研究開発分担者 (日本語) 日本電気株式会社 医療ソリューション事業部
所属 役職 氏名： 主任 北村 義和

(英 語) Yoshikazu Kitamura, Assistant Manager,
Medical Solutions Division, NEC Corporation.

研究開発分担者 (日本語) 日本電気株式会社 医療ソリューション事業部
所属 役職 氏名 : 主任 奥津 元靖

(英 語) Motoyasu Okutsu, Assistant Manager,
Medical Solutions Division, NEC Corporation.

II. 成果の概要 (総括研究報告)

・ 研究開発代表者による報告の場合

(和文)

本調査研究では、臨床研究等 ICT 基盤構築研究事業における、健康・医療分野（健康・医療・介護・福祉分野を含むものとする）の大規模データの分析結果の活用により、医療の質向上・均てん化・診療支援、及び日本発の医療技術の臨床開発に必要なエビデンスを提供するという目的を踏まえて、医療等データ（NDB、DPC、KDB、ORCA、MID-NET、NCD、CIN、バイオバンク等）の全体像の調査を行い、データ収集・蓄積・活用の観点でそれぞれを個表にまとめた。さらに、現状の医療等データに関して、悉皆性、目的、発生源等の切り口で俯瞰図や比較表を作成すると共に、有識者へのヒアリング等を通じて、医療等データの活用の現状、医療等データ間の相互利用が実現した場合の利活用意向、想定される課題等を整理した。最後に、これらの調査結果を踏まえて、利用促進に向けた対策案を提案した。

(英文)

We have investigated major clinical and medical databases and repositories (NDB, DPC, KDB, ORCA, MID-NET, NCD, CIN and bio-resource bank) based on providing evidence necessary to medical quality improvement, elimination of care disparities, medical examination, treatment support and clinical development. We summarized features of data utilization for each databases and repositories through hearing to knowledgeable persons, then compared them on feature schemas at the points of completeness, destination, data-origins and so on. Moreover the current state of the utilization of the data, problems for data reference were considered. Finally, several approaches to realize the interoperability of these databases and facilitate clinical research were proposed.

III. 成果の外部への発表

(1) 学会誌・雑誌等における論文一覧（国内誌 0件、国際誌 0件）
（該当無し）

(2) 学会・シンポジウム等における口頭・ポスター発表

1. 医療等データの利活用に関する調査および考察, 上條憲一, 吉岡賢, 北村義和, 奥津元靖, 田中千恵美, 真野誠, 第37回医療情報学連合大会,国内 (2017/11 発表予定) .

(3) 「国民との科学・技術対話社会」に対する取り組み
（該当無し）

(4) 特許出願
（該当無し）